

# 平成28年度 市町村民経済計算について

## 1 市町村民経済計算とは

市町村内における各経済主体(企業、家計、財政)が、経済活動により1年間に新たに生み出した価値(付加価値)の流れを、生産、分配の二面から総合的に捉えたもので、国民経済計算、県民経済計算の市町村版にあたります。

各市町村経済の構造、規模及び成長率が一目でわかるので、市町村間の比較も容易であり、各種施策の企画立案や地域の経済分析等に活用されています。

## 2 結果の概要

平成28年度の群馬県経済は、企業の旺盛な設備投資意欲に支えられ、県内総生産は名目で8兆5,285億円となり、名目経済成長率は0.1%増(平成27年度は、3.1%増)と7年連続で増加しました。また、県民所得は6兆943億円となり、0.3%減(平成27年度は、3.1%増)と7年ぶりに減少しました。この県内総生産、県民所得の値を、各種統計データ等を用いて市町村に分割したものが、市町村内総生産、市町村民所得です。

### (1) 市町村内総生産額

製造業、専門・科学技術・業務支援サービス業及び農業等が市町村経済を牽引し、22市町村で増加しました。

#### 総生産額上位

|    |     |                        |
|----|-----|------------------------|
| 1位 | 高崎市 | 1兆5,076億円 (対前年度比2.0%増) |
| 2位 | 太田市 | 1兆4,059億円 (対前年度比3.0%減) |

### (2) 市町村民所得総額

好調な雇用環境を受けた雇用者報酬の増加や、活発な経済活動による企業所得の増加によって、19市町村で増加しました。

#### 市町村民所得総額上位

|    |     |                        |
|----|-----|------------------------|
| 1位 | 高崎市 | 1兆1,990億円 (対前年度比0.7%増) |
| 2位 | 前橋市 | 1兆 576億円 (対前年度比0.6%増)  |

### (3) 1人当たり市町村民所得

市町村民所得総額の増加及び人口減少により、22市町村で増加しました。

#### 1人当たり市町村民所得上位

|    |      |                      |
|----|------|----------------------|
| 1位 | 千代田町 | 4,691千円 (対前年度比7.8%増) |
| 2位 | 明和町  | 3,779千円 (対前年度比0.9%増) |

※1人当たり市町村民所得とは、雇用者報酬、財産所得、企業所得の合計である市町村民所得総額を、人口で除したものです。したがって、企業の利潤なども含む市町村経済全体の所得水準を表しており、個人の所得水準を表すものではありません。

## 3 利用上の注意等

- 最新の指標を用いて過去に遡って推計を行っているため、数値は平成18年度まで遡及して改定しています。比較に際しては、過年度分も含め最新の公表値を使用してください。
- 市町村別の統計表等は、群馬県統計情報提供システム(<https://toukei.pref.gunma.jp/pis/index.html>)に掲載しています。